2040年4月10日発行　　岐阜市未来共創WS：Iグループ

ぎふみらいだより

温故知新で寛容性のある居心地がいいまち

世代を超えた「つなげるキーマン」が地域の架け橋に
高齢者と若者の協働で、地域活動参画率84%を達成

15年前から始まった「老若男女つながりプロジェクト」により、岐阜市の地域活動参画率は84%に到達。「地域活動に積極的な若者、高齢者」育成プログラムで342名の「世話やき隊」が活動し、多世代での活動団体は127グループを数える。「世代間ギャップなんて関係ない。みんなで岐阜を良くしたい」と世話やき隊の佐々木さん(74)。「高齢者の経験と若者のデジタル技術が組み合わさって想像以上の成果が生まれる」と大学生の田村さん(22)。
違いを認め合い、挑戦を後押しする文化が定着した。

公民館サードプレイス化で「偶然の出会い」が日常に

滞在性向上により
1館平均月1,200人が利用、
新事業58件誕生

市内19館が出会いの場にアップデートし、月間延べ利用者数は6万人超。カフェやコワーキング機能で朝7時から夜9時まで人が集う。「公民館で毎朝コーヒーを飲んでいたら、新しいビジネスパートナーに出会えた」と元会社員の山口さん(38)。「学校帰りに公民館によっていつも会うよしえばぁばに編み物教わってます」と小学4年生の香澄ちゃん(10)。
平均滞在時間3.2時間、偶然の出会いから生まれた地域事業は累計58件に達した。

まち全体が学校に！「みらまも教育」で地域愛98%達成

まちの先生制度により、
次世代がやりたいことを実現

全小中学校で実施する「みらいをまもる教育」の満足度は98%を達成。まちの「みらまも先生」892名が年間1,450コマを担当し、古い資源の収益化実践例も教材化。第一世代が地域で活躍している。
「小さいころから、みらまも教育があったからやりたいことができた！」と起業家の鈴木さん(29)。成功事例47件が見える化され、女性の社会復帰率も89%に向上。
「まちの人から学んだ郷土愛が今の仕事の原動力」と田中さん(26)。

規制緩和で市民活動が活性化

公共空間活用申請が短縮、年間イベント数5倍増

公共空間活用手続きを簡略化し、年間承認件数2,347件を達成。官民連携で市民のアイデアが実現しやすくなる！まちの市民プール、駅前広場、駐車場、公園などで、音楽祭やマルシェなど多様な活動が展開され、年間経済効果4.2億円。「以前は諦めていたアイデアも気軽に実現できる」とNPO代表の加藤さん。市民の創意工夫が公共空間に新価値を生み、文化度高いまちとして全国注目を集めている。

編集者：鬼ヶ島、ほりえもん、カハラ、りょうさ、黒ちゃん、大ちゃん